

技能大会 千葉幸大さん金賞

カレッジ卒で全国連覇

【建築】カレッジ・吉川新吾(記)9月15日から3日間、茨城県ひたちなか市で行なわれた「全建設連第34回全国青年技能競技大会」



競技終盤で奮闘する千葉さん

で、東京建築カレッジ第10期生、本校で実技実習指導員を務める千葉幸大さん(35歳、建築大工、小金井国分寺)が金賞を受賞しました。

本校は前回の大会でも氏平達也さん(第11期生、指導員)が金賞を受賞、2年連続で卒業生が全国トップの栄冠を獲得しました。「東京代表の2連覇はうれしいですが、今回の大会では運良く勝てた感じもありました。来年は後輩たちに完璧な作品で金賞を取ってもらいたい」と千葉さん。

この大会は6時間の制限時間内で10分の3勾配の「四方転び踏み台」を作り、正確さと美しさを競うもので、今回の出場選手数は63人でした。銀賞、銅賞は他県選手を受賞しましたが、第13期生の柴田輝美さん(35歳、建員)は「入賞」の第2位、同じく第13期生で現指導員の赤井立矢さん(34歳、建築大工)は「入賞」の第3位と健闘しました。



応援にかけつけた小金井国分寺支部の仲間と喜び分かち合う

9月13日、全建設連東京都連合会は消費税増税反対街宣活動を、有楽町、渋谷、新宿の3カ所で行ないました。10組のべ100人が参加しました。

渋谷駅東口での宣伝で、マイクを握った齋藤誠東京土建本部税対部長は「消費税の引き上げの一方で、下げられているのが法人税です。企業に對しては減税が行なわれ、大企業の内留保は4.6兆円もため込まれていますが、労働者の賃上げには回っていません。来年10月に消費税が10%に引き上げられます。生活はますます厳しくなります。消費税引き上げに反対します」と訴えました。

立ち止まって聞いていた、地元でパン屋を営んでいる68歳の男性は「消費税増税には反対。景気が悪くなる。竹下首相が消費税を導入したときから反対してきた。消費税は取りやすいところから取られて、生活は大変だし、仕事にも影響が出ている」と怒りをこめて話してくれました。

その後、築地市場の豊洲移転強行に反対する東京中央市場労働組合中央執行委員長の中澤誠さんや、10月1日から横田基地に正式配備される米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイの問題点を訴える「横田基地の撤去を求める西多摩の会」事務局長の窪田一忠さんなど、各団体の代表から決意表明と連帯あいさつがありました。

集会最後のシユプレヒコールの後、個人請願書を都に対して提出しました。



厚労省前で「完勝」を示す旗が3本並んだ

9月20日、大阪高裁(大阪ルート)でも勝利判決を勝ち取り、8月31日の京都ルート判決に続いて完勝。今回は、国の責任を「3分の1」から「2分の1」とし、国の石綿建材製造使用禁止義務を1991年末からに広げるといふ、さらに前進した判断が下されました。

厚労省前の集会の閉会のあいさつに立った窪田統一(本部副部長、東京土建副委員長)は「10連勝した。もう何度裁判をやっても、結果は同じということが今日の判決で分かったのではないかと。国と製造企業は謝罪しろ。そして償え」と厚労省に向け、集会参加者と共に声を大にして訴えました。

フクシマと共に 8000人で「サヨナラ原発」

3・11福島第一原発事故による放射能汚染から7年半が経過しました。依然として「ふるさと」に戻れない人々がいるなど深刻な経験を忘れたかのよう、再稼働など原発推進政策を安倍政権は行なっています。9月17日、代々木公園に8000人(東京土建は181人)が集まり、「さよなら原発全国集会」を開催しました。



「NO! 原発推進」のプラカードを掲げ唱和



宣伝カーから訴える 齋藤税対部長

「景気が悪くなる」 消費税引上げノーと宣伝

9月19日に、日比谷野外音楽堂で「戦争法から3年、安倍9条改憲NO! 沖縄・辺野古新基地建設阻止! 9・19日比谷野音楽会」が開催され、

都民要求の実現を 議会開会日に都庁前集会



都庁に向かってコールする参加者

東京都議会第3回定例会の開会日である9月19日、東京土建を含む諸団体が昼休みに都庁第一庁舎前で集会を行ない、2500人(東京土建は34支部99人)が集まりました。

主催者を代表して萩原淳東京地評議長は「都民の深刻な暮らし、営業、雇用の改善、都民医療・介護、福祉を守り、充実など、切実な都民要求をこの都議会に持ち寄り、要求の実現へ都議会各会派と協同・連携し、運動を強めていきましょう」とあいさつ。

その後、築地市場の豊洲移転強行に反対する東京中央市場労働組合中央執行委員長の中澤誠さんや、10月1日から横田基地に正式配備される米空軍の特殊作戦機CV22オスプレイの問題点を訴える「横田基地の撤去を求める西多摩の会」事務局長の窪田一忠さんなど、各団体の代表から決意表明と連帯あいさつがありました。

集会最後のシユプレヒコールの後、個人請願書を都に対して提出しました。

建設アスベスト 大阪の陣 連勝

10度目の審判を敗けたら

国と企業は和解の席を

「大阪高裁勝訴」「建材企業を断罪」「国に10連勝一人親方も救済」の旗が見事に並ぶ。厚労省前に待機した首都圏建設アスベストの仲間から歓声が上がりました。

9月20日、大阪高裁(大阪ルート)でも勝利判決を勝ち取り、8月31日の京都ルート判決に続いて完勝。今回は、国の責任を「3分の1」から「2分の1」とし、国の石綿建材製造使用禁止義務を1991年末からに広げるといふ、さらに前進した判断が下されました。

第一部のステージはうじきつよしさんとゼロノミックスのライブ。オリジナルなロックで参加者を盛り上げました。第2部では主催者でルポライターの鎌田慧さん、作家の澤地久枝さんの主催者挨拶の後に、福島原発訴訟団や東海第二原発訴訟団などからの発言が続きました。原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟の吉原毅さんは、原発の建屋は一般住宅よりはるかに地震への耐性が低く、福島第一原発は津波被害以前に地震の揺れで建屋が壊れ、放射能が漏れていたという報告があると指摘しました。

2コースに分かれてパレードを行ない、「原発推進ノー」を訴えました。